



# NO.114 モユク★カムイ

●モユク・カムイとはアイヌ語で「エゾタヌキ」のことです。 October 2022

## ASAHIYAMA ZOO NEWS

あさひやまどうぶつえんニュース



### もくじ

ほくは動物大使 その75  
穴掘りの達人～ミホシイグシシ～ .....1.2

特集 卵いろいろ物語～鳥類の繁殖シーズン～ ...3.4

飼育研究レポート .....5

ダチョウの繁殖・抱卵の環境づくり

こども牧場からのお手紙 .....6

色々な企画展をしました

主なできごと・編集後記・飼育動物数 .....7

表紙の絵：児童画コンクール 旭山動物園賞  
小学校低学年の部 太田 愛湊さん

## ニホンイノシシ

学名 *Sus scrofa leucomystax*  
分類 ウシ目 イノシシ科

ユーラシア大陸を中心に世界に広く分布するイノシシの亜種で、北海道・東北地方を除く日本全国の山林に生息する。足が短く鼻で地面を掘って食べ物を探するため豪雪地帯には生息しない。

本来は昼行性だが、臆病な動物のため人間の活動の2次的な習性として夜行性になった。人間に慣れて警戒心の減った個体や人間を警戒する必要がない地域では昼に活動する。

寿命は飼育下で15~20年、野生下で6~10年と考えられる。

成熟したオスは単独で暮らし、メスはこどもと共に暮らす。

### ニホンイノシシの分布

本州、四国、九州に分布。  
ただし積雪の多い地域ではほとんど見られない。



濃い部分=生息範囲

### 泥浴び

野生のイノシシは湧水地のぬかるみ(ぬた場)でごろごろ転がって体に泥をこすりつける習性があります。「ぬた打ち」とよばれ、ぬた打ち後は近くの木に体をこすりつけて泥を落とします。このときに寄生虫なども一緒に落とすとされています。また、体温調節の役割もあります。

## ぼくは動物 穴掘りの達人

**体** 頭胴長 100~160cm  
体重 50~150kg

**鼻** とても嗅覚が優れている。突き出ている、鼻先は鼻鏡と呼ばれる。鼻を使って地面を掘り食べ物を探す。

**歯** 下あごの犬歯が大きく、オスでは牙になっていて一生伸び続け武器となる。

### 繁殖

春~秋に出産する。通常1年に1回出産するが、春と秋に2回出産することもある。妊娠期間は約120日、3~12頭出産する。(ふつう4~5頭)こどもの体にはしま模様があり「ウリ坊」とよばれる。しま模様は生後3か月頃から消え始め、6か月くらいでなくなる。

### ヒトとイノシシ

イノシシは田畑を荒らす害獣として、また、良質の肉をもたらす狩猟獣として人間の生活に深くかかわってきました。現在も「牡丹鍋」などのジビエ料理として利用されています。

性格が温和で人間に慣れることから古くから家畜化されました。ブタはイノシシを家畜化したものでその歴史は約1万年前から始まります。また、イノシシとブタを交配した「イノブタ」とよばれる家畜も存在します。

## 大使 その75 ニホンイノシシ

### 食べ物

植物質を主に食べる雑食性で草・根・果実・木の实・虫・動物の死体など。旭山動物園ではニンジン・サツマイモ・キャベツ・ペレット・穀類など。

### 足

四肢にはそれぞれ4本の指があり、主蹄に2本の蹄を持つ。側蹄が低い位置にあり足跡に残ることが多い。

人家に近い藪などに生息し、高い山や深い森林には生息しない。ササ・シダ・ススキ・落ち葉などを敷いてベッドを作る。出産期や冬期には草や木の枝で屋根のある巣を作る。



♂ ボんた



♀ ちょこ

### ニホンザルとの共生展示

ニホンイノシシはニホンザルとの共生展示を目的として2018年に導入されました。本州では象徴的な存在である2種が同じ空間で暮らすことで、ニホンザルの行動が多様になる・存在がお互いに刺激となることが狙いでした。イノシシ導入後、それまでは地面で過ごすことも多かったニホンザルたちが高い位置で過ごすようになったり、サル同士のもめごとが起きても長引かないなどの変化が見られました。イノシシたちはサルをあまり気にせずに暮らしています。



共に暮らすニホンザルとニホンイノシシ

特集

たまご

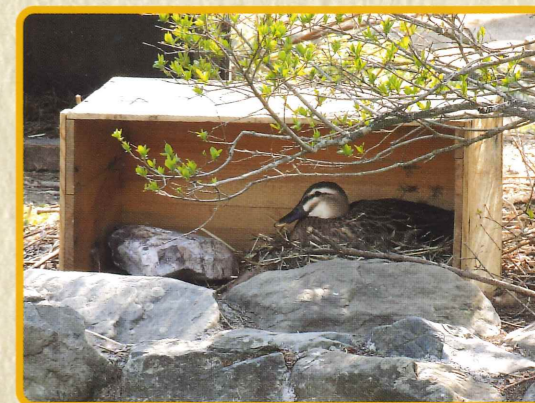
# 卵 いろいろ物語

～鳥類の繁殖シーズン～

動物には繁殖する季節が決まっている種類(季節性繁殖)と決まっていない種類があります。鳥類の多くは季節性繁殖で春から夏にかけて繁殖する種類が多いです。2022年の旭山動物園で繁殖した鳥類と飼育スタッフの取り組みを振り返ってみたいと思います。



最初は出たり入ったりしてましたが、無事に巣立ってくれました



今年は来園者に抱卵の様子を見てもらうために、オープンな巣箱にしてみました(写真はカルガモ)

繁殖シーズンに入る前に巣箱の中に監視カメラを設置しました。繁殖シーズンに入ると警戒して巣箱を使用しなくなってしまう可能性があるためです。

## シマフクロウ

巣箱のカメラが親鳥にずらされて見られなくなってしまう

2月22日・24日・25日  
交尾を確認!!

3月10日産卵  
抱卵を開始

4月14日・18日  
ふ化をカメラで確認

シマフクロウの抱卵日数：約35日

2月

3月

4月

5月

6月

7月

昨シーズンもダチョウによる自然抱卵に取り組んでいました。今年も1月から産卵するが、自分で割ってしまうこと数回、...

## ダチョウ

雄がたまに抱卵するようになる

産卵が続き、雄雌交代で抱卵するようになる

※ダチョウの自然孵化については飼育研究レポートでも特集しているので、そちらもご覧下さい。

4月末  
越冬のための室内から屋外へカモたちを移動

5月25日  
巣立ち(巣から出てくる)

5月末  
屋外の巣箱や茂みで産卵と抱卵がはじまる

6月19日  
屋外で自然抱卵していた卵がふ化

7月20日  
抱卵放棄され孵卵器に入れていた卵がふ化

## キンクロハジロ

キンクロハジロの抱卵日数：約25日

ダチョウの抱卵日数：約40日

キングペンギンの抱卵日数：約58日

4月20日に産卵  
卵はふ卵器へ入れ親ペアには偽卵を抱いてもらう

5月27日・6月7日・9日に自然ふ化

6月17日にふ化  
6月18日より雛は仮親に渡して育雛開始

## キングペンギン

ペンギンの仮親って?

産卵ペアが他のペンギンと激しくけんかをしたり、雛の受け渡しが下手なことなどが原因で上手く育雛できない場合に仮親の出番になります。仮親は雄同士でペア形成したペンギンや、血統的に繁殖させたくないペアなどに偽卵(本物と同じ重さ大きさの卵)を抱いてもらい、繁殖モードになってもらいます。



来園者の見えるところで抱卵していたので、ふ化したての雛も見ることができました



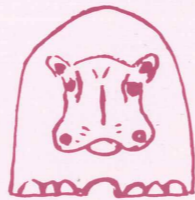
育雛期間の長いキングペンギンは来春まで雛は親と違う姿のままです

鳥類の繁殖はシーズンが決まっているので一年に一回が勝負となります。そのため飼育担当者は前年の反省を生かして、次の年はどうやって繁殖成功してもらうか考えて半年を過ごしています。春から夏の数ヶ月が終わり、今年の結果を受けてまた来年に向けての半年がスタートしています。



# 飼育研究レポート

～ダチョウの繁殖・抱卵の環境づくり～



今年は旭山動物園で29年ぶりにダチョウが3羽ふ化しました。これまでの取り組みについて報告いたします。

ダチョウの繁殖は、野生下では1羽のオスと複数のメスで行います。卵は一つの巣に産卵し、多くて20個以上になることもあります。抱卵はオスが夜、メスは昼に行い、雛は約42日でふ化します。

2019年から自然繁殖に向けての試みを開始しました。旭山動物園のダチョウの繁殖は29年前の人工ふ化以来で、自然繁殖は初めてのことです。

当園の環境で実際にどのような行動をするのかは分かりませんでした。卵はいくつか産卵してから抱卵すると予測して、2019年は産卵がみられた1月から卵を屋内に設置した巣内に集めて置いたままにしたところ、春からオスだけの抱卵が始まりました。

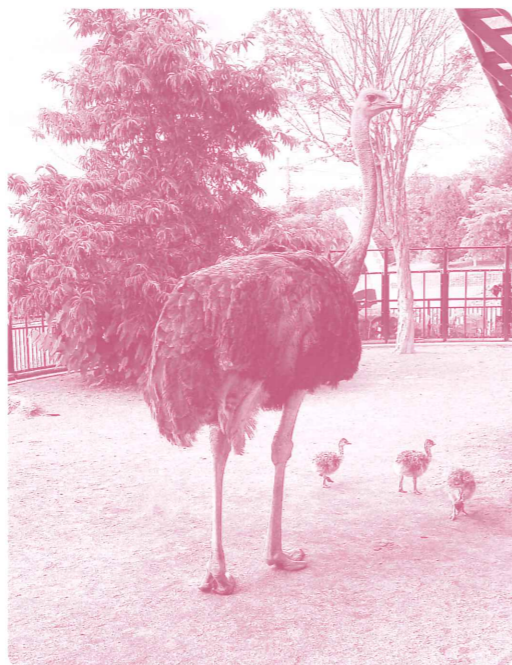
初年度は、ふ化には至りませんでした。有精卵を生むのは分かったので、2020年からはふ化を目標にメスの抱卵を促すのが課題でした。安心できるように巣から人が見えないように、巣の位置を隣の部屋に移すなどシーズン毎に環境を変えて試しましたが、過去3年ではオスは連続して抱卵するのですが、メスの安定した抱卵にはつながりませんでした。

そこで今年2022年は巣の真横のいつも開けている屋外へ出る扉の開閉を中止にしたところ、メスの抱卵が続くようになりました。巣から直接屋外が見えないようにしたのがダチョウを安心させる要因だったようです。

抱卵は基本的にはオスは夜間、日中はメスが担当しているのがよく観察されましたが、昼を過ぎてもオスが巣にいることもありました。メスはたびたび巣を離れるので、卵が冷えないか心配でしたが、野生下でも抱卵のほとんどはオスが行うらしく、そういうものなのかもしれません。

そして抱卵を開始してから一か月半くらいが経過した5月27日、6月7日と9日に念願の雛がふ化しました。はしうちからふ化までは12～24時間ほどかかります

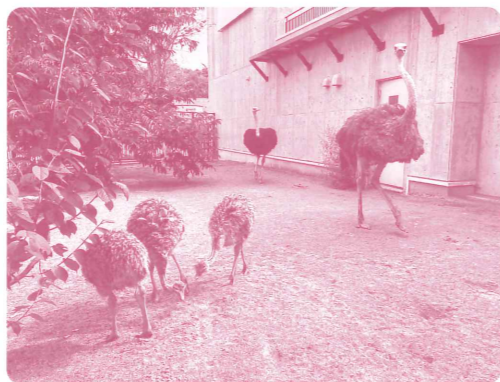
が、どの卵も前日のはしうちは確認できなかったの  
で、ふ化は順調だったと言えます。



6月下旬の雛とメス

雛は親の100分の1の重さの体重1kgくらいでふ化  
します。ふ化の次の日には親について歩き回っていま  
した。

雛の成長には骨格の成長と体重の増加のバランス  
が重要で、給餌量と運動量に注意しながら飼育管理  
を行っていきます。



8月下旬の雛

雛は3羽で放飼場をよく走り回っていて運動量は問  
題なさそうです。約1年で成鳥と同じ大きさになりま  
す。これからの成長も楽しみにしています。

(ダチョウ担当:田中千春)



# 子ども牧場からのお手紙

～色々な企画展をしました～



今年の子ども牧場の夏は、「身近な虫から自然を考えてみよう」をテーマに、7月下旬～8月下旬で「クワガタ・カブトムシ展」を。8月下旬～9月下旬で「鳴き虫展」とミニ企画展を実施しました。

今回の子ども牧場からのお手紙では、この2つの企画展を紹介します。

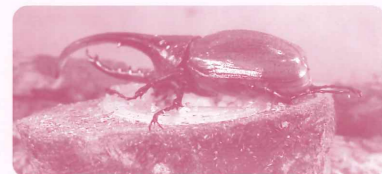
## クワガタ・カブトムシ展



「クワガタ・カブトムシ展」では、北海道や本  
州で見られる日本のクワガタ・カブトムシを8  
種類の他、当麻町にある「当麻世界の昆虫館  
ハピヨンシャトー」さんのご協力を得て、外国  
産のクワガタ・カブトムシを3種類、全部で11種  
類を展示することができました。

いつの時代も人気のあるクワガタ・カブトム  
シですが、身近な昆虫から自然のことを考えて  
もらうきっかけを作れたらと思います。

とても好評でしたので、来年も企画する予定  
です。



ヘラクレスオオカブト



ニジイロクワガタ



ミヤマクワガタ

「鳴き虫展」では、旭川で見られるキリギリ  
スやコオロギの仲間を10種類展示しました。  
園内で、捕まえた鳴き虫を展示しましたが、  
園内のどのような場所で生息しているかを  
伝えています。

秋の訪れを教えてくれる「鳴き虫」たちが、  
どのような姿や音色なのか。そんなことがわ  
かる展示になっています。

いつも何気なく聞こえる虫の声ですが、鳴  
き声からキリギリスやコオロギがわかると、  
とても楽しく鳴き声を聞くことができます。

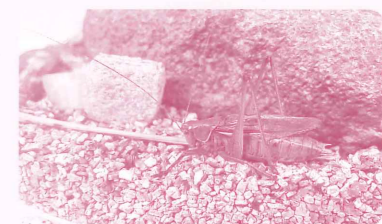
みなさんも鳴き虫の声から、自然を思い返  
してみたいでしょうか。



## 鳴き虫展



イブキヒメギス



ハネナガキリギリス

今回企画したこの2つの企画展は、20年以上ぶりの「クワガタ・カブトムシ展」と9年ぶりの「鳴き虫展」となりました。どれも大切な「身近な虫」から自然を考えるきっかけを作りたいという思いで企画したものです。来年も企画していく予定ですので、ぜひ楽しみにお待ちいただければと思います。

(子ども牧場担当 佐賀)

## 主なできごと

6月13日 タンチョウ「ノモ子」死亡(衰弱)



17日 キングペンギン1羽、ふ化  
22日 チンパンジー「フルト」1頭出産

7月1日 旭川市旭山動物園開園記念日  
(55周年)

2日 ホッキョクグマの仔の命名式  
愛称「ゆめ」

5日 レッサーパンダ「渝渝(ユーユー)」  
2頭出産



26日 (～8月9日)学芸員実習1名受入  
29日 旭川市生物多様性セミナー  
「夏休み!まるごとヒグマ!」1回目

8月1日 旭川市民感謝デー

6日 「夏休み!まるごとヒグマ!」2回目

7日 令和4年度動物墨画  
パフォーマンス甲子園開催

8日 モモイロペリカン(オス)死亡  
(出血性ショック)

10日 アビシニアコロブス「アビ」1頭出産

14日 キングペンギンNo.8死亡  
(細菌性肺炎)

14日 (～8月27日)

獣医学科生の動物園実習3名受入

20日 「夏休み!まるごとヒグマ!」3回目

25日 ライオンのメス「イオ」  
出産準備のため展示中止

25日 (～9月9日)学芸員実習1名受入

9月10日 ヤギ「こむぎ」が2頭出産

12日 ライオン「イオ」出産

14日 アフリカウシガエル死亡(老衰)



## 編集後記

今年の旭山の夏は暑い陽気を受けつつも、猛暑になる日が少なく、人にも動物にも過ごしやすい季節だったように思います。

まだ続くコロナ時代ではありますが、感染対策を取った上でコロナとうまく付き合っていく、共存していくという意識の変化がある中で、旭山でも多くの来園者にきていただき、たくさんのイベントを実施することができました。この編集作業を行っている9月は北海道にしてはめずらしい残暑のような暖かさがありつつも、朝夕はかなり冷え込むようになりました。また秋がきて冬がきて・・・もうすでに春が待ち遠しくなってきました。動物たちは冬に向けた準備で毛や体に変化していく時期です。みなさんも寒さに負けない、彼らの生きる強さをぜひ見に来てください。

## モユク・カムイ No.114 令和4年10月15日

- 発行所/旭川市旭山動物園  
〒078-8205 旭川市東旭川町倉沼 ☎0166-36-1104
- 発行人/坂東 元
- 表紙絵/児童画コンクール 旭山動物園賞 小学校低学年の部 太田 愛湊さん
- 編集/中村 亮平・中野 奈央也・佐賀 真一  
中田 真一・佐藤 和加子・大西 敏文
- 印刷/株須田製版：〒070-8045 旭川市忠和5条8丁目3-1 ☎0166-62-2266

## 最新情報はここでチェック!!



公式HP



Facebook



Twitter



Instagram



## 飼育動物数

令和4年8月末日現在

- 哺乳類 43種・298点
- 鳥類 50種・300点
- は虫類 9種・27点
- 両生類 5種・18点
- 合計 107種・643点